

海洋少年団強化・活性化実行計画の推進について

—会員1万人回帰運動—

〈2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催年までの6カ年計画〉

日本海洋少年団連盟は、9月25日午後2時から、都内の日本船主協会会議室において第3回日本海洋少年団強化・活性化会議を開催し、前回の会議において決定した2020年東京オリンピック・パラリンピックまでの6カ年にわたる「海洋少年団強化・活性化実行計画」を推進するため、具体的な強化・活性化に係る施策及び日本海洋少年団マスコットキャラクター募集要領を決定した。

会議は、日本海洋少年団連盟特別顧問衛藤征士郎海事振興連盟会長、高木義明海事振興連盟副会長・事務総長、草刈隆郎日本海洋少年団連盟会長(日本郵船(株)相談役)の挨拶に続き、約1時間にわたって議案の審議を行った。

「海洋少年団強化・活性化実行計画」の推進策については、全国に12ある日本海洋少年団地区連盟に地区連盟会長、日本海洋少年団連盟本部(理事長又は事務局長)、地方運輸局、管区海上保安本部、地元関係業界(造船、旅客船など)等をメンバーとする「海洋少年団強化活性化地区プロジェクトチーム」を設置し、それぞれの地域で新団設立の可能性等を検討して海洋少年団地区強化・活性化計画を策定、当該地域に海洋少年団活性化協議会を設置するとともに、海事振興連盟国会議員の協力・支援を受け、新団の設立、既成団の強化等を推進することとした。

また、「海洋少年団強化・活性化実行計画」を推進するためには、財政基盤を強化することが不可欠であることから、既存会員の賛助会費の増額、新規賛助会員の拡充等による推進計画を策定し、これに基づき海事関係団体や海事関係企業などに入会等の依頼をすることとした。

日本海洋少年団マスコットキャラクターの募集については、少年少女達に対して海に親しむ機会を与えるなど海洋国家日本の人材を育む海洋少年団運動について理解を深めるとともに、海洋少年団をより身近に感じてもらうため、イベントやパンフレット等に使用するマスコットキャラクターのデザインを10月1日から公募することとし、数回の選考会を経て最優秀賞1名、優秀賞2名を表彰することとした。

日本海洋少年団マスコットキャラクター募集の詳細については、別添「日本海洋少年団マスコットキャラクターデザイン募集案内」のとおりである。

日本海洋少年団強化・活性化会議は、日本海洋少年団連盟特別顧問衛藤征士郎海事振興連盟会長、高木義明海事振興連盟副会長・事務総長、岡本信明日本海洋少年団連盟顧問(東京海洋大学学長)、草刈隆郎会長(日本郵船(株)相談役)、岩崎貞二(元海上保安庁長官)・林正義・権藤正信各副会長、赤峯浩一理事(日本郵船(株)専務経営委員)、大山高明理事(海事新聞(株)社長)、森田保己理事(全日本海員組合組合長代行)、藤田光信理事(日本海洋少年団東京地区連盟会長)、福田武雄日本海洋少年団関東地区連盟会長、朝倉次郎日本船主協会会長、山崎潤一日本旅客船協会会長、上野孝日本内航海運組合総連合会会長、佃和夫 日本造船工業会会長、鈴木壽美子フェルケール博物館理事長・前静岡県教育委員長、久保公人文部科学省スポーツ・青少年局長、森重俊也国土交通省海事局長、鈴木洋海上保安庁海上保安監、多羅尾光睦東京都港湾局長で構成されている。